



井原市議会2月定例会が2月29日開会します。森本市議は、15日に下記のとりの質問概要を議長あてに提出しました。この度の質問で、平成元年6月議会で初めて質問し以後連続108回目の質問になります。森本議員は、「みなさんのご意見・ご要望が一つでも多く実現するよう奮闘したい」と話しています。

1. 井原市が協会けんぽと「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定書」を締結する方向へ進めることについて。

井原市と協会けんぽ岡山支部が「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定書」を締結し、より多くの市民を対象に健康増進のための施策を打ち出すようにしてはどうでしょうか。

2. 3歳児教育未実施幼稚園への3歳児受け入れ条件の早期整備について。

市内幼稚園で3歳児教育未実施幼稚園である、高屋、木之子、西江原の3園について、受け入れ条件を早期に整備し、1日も早い実施を望みます。

3. 国民健康保険税（国保税）引き上げ幅緩和のため、他会計等からの繰り入れ策の実施について。

私が以前から言っているように、被保険者の負担軽減を考え、他の自治体でもやっている一般会計からの法定外繰り入れとか、財政調整基金（同基金条例第6条第1号に該当）から一般会計に繰り入れ、その後国保会計へという方法などを採り、引き上げ幅を少しでも低く押さえる施策を講ずるべきではないでしょうか。

4. 洋式トイレがない公共施設ゼロを目指すことについて。

市内の公共施設のどこへ行っても洋式トイレがあり、安心して施設が利用できるよう、洋式トイレがない公共施設ゼロを目指してはどうですか。



5. 市民病院に軽食喫茶風「和みコーナー」を開設することについて。

病院を利用される方々のために、病院の一角に軽食喫茶風「和みコーナー」を開設してはどうですか。

6. 以前の私の質問に対するその後の検討結果について。

- 1) 自動体外式除細動器（AED）を市内のすべての公共施設に設置しては。
(2014年12月11日質問)
- 2) 井原市民病院に勤務する意志のある医大生等に対する修学資金貸与制度を創設しては。
(2015年3月4日質問)
- 3) 軽度認知障害（MCI）のチェック制度の導入と市民への周知について。
(2015年6月23日質問)

この「後援会ニュース」は、森本ふみお市議の
ブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見ることができます。

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

日本共産党はこう考えます

しんぶん 赤旗
2月20日付
「主張」より

野党5党首の合意 戦争法廃止への画期的な確認

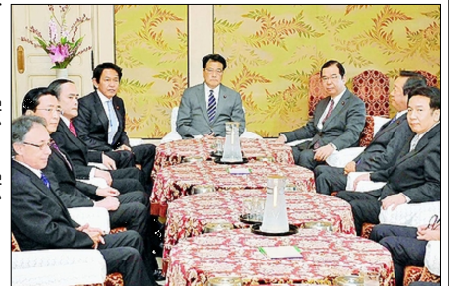
日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の野党5党の党首会談（写真）が開かれ、戦争法廃止法案の国会提出とともに、戦争法廃止や安倍晋三政権打倒に向け、国会や国政選挙で協力を行うことなどを確認しました。憲法に真っ向から反する戦争法を安倍政権が強行成立させてから5カ月。安倍政権への国民の批判と怒りが広がるなか、野党5党の間でしっかりした合意を実現したことは、安倍政権の暴走を止めたいと願う国民世論を受け止めたものです。立憲主義を取り戻す国民のたたかいの前進のための画期的な合意です。

国民の声が前に進めた

空前の規模で広がった昨年来の戦争法反対のたたかいは、成立後も継続し、各地で広がりを見せています。圧倒的多数の国民は成立後も戦争法を支持していません。この声を受け止めることが政治に課せられた重い責任です。

戦争法の廃止、集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回、安倍政権の打倒、国政選挙で与党とその補完勢力を少数に追い込む一日本共産党の志位和夫委員長、民主党の岡田克也代表、維新の党の松野頼久代表、社民党の吉田忠智党首、生活の党の小沢一郎代表が合意した内容は、国民の切実な思いに正面からこたえたものです。

戦争法は、安倍政権が集団的自衛権は行使しないという歴代政権の憲法解釈を百八十度転換し、憲法を踏みにじって、自衛隊が海外でのアメリカの戦争に参加する危険な道を開いたものです。憲法に違反し、立憲主義を破壊し、民主主義さえ踏みにじる法律です。違憲の戦争法ばかりは、強行されたからといって絶対に放置しておくことはできません。



5野党党首会談はまず、戦争法廃止法案の国会提出を確認し、廃止法案は会談直後、共同で衆院に提出されました。提出した廃止法案を今国会で真剣にしっかり審議することこそ急ぐべきです。

さらに5党首会談では、安倍政権の打倒を目指し、国政選挙で現与党とその補完勢力を少数に追い込むため、国会での対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行うことを確認しました。戦争法を廃止し、安倍政権の暴走を阻止するためには、自民党・公明党の与党をはじめ安倍政権の補完勢力をなんとしても少数に追い込まなくてはなりません。そのためには国政選挙での野党間の協力が必要です。5党首の合意が野党の協力を切望してきた国民世論に歓迎されるのは間違いありません。

5野党が国会や国政選挙での協力について、誠実で真剣な協議に入ることを確認したことは、情勢を大きく切り開くものです。会談で志位委員長は、参院1人区での「思い切った対応」も表明しました。国民的大義を実現するために、立場の違いを超え、政党・団体・個人が力を合わせるのがいよいよ重要になっています。

全国津々浦々で運動広げ

安倍政権は3月末にも戦争法施行を狙っています。戦争法施行によってアフリカや中東で自衛隊が戦後初めて「殺し殺される」現実の危険が迫っていることが国会論戦でも浮き彫りになっています。

5野党の合意も生かし、戦争法廃止の「2000万署名」など運動を強め、戦争法廃止と立憲主義を取り戻すたたかいをいっそう強めようではありませんか。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。